

政策対談 デジタル化で戸田を持続可能な街へ



野澤 日頃の先進的な市政運営の推進に敬服いたします。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

菅原 野澤さんはソフトウェア会社の経営者としてビジネスの最前線で活躍されており、デジタル技術にも強いですね。戸田市でも行政のデジタル化による、行政手続きのワンストップサービスの実現を目指して取り組んでいます。

野澤 世界最先端の電子政府を実現した国、エストニアの人口はわずか130万人です。市町村程度の規模であればデジタル化への取り組みは行いやすいと思います。そこで戸田市では、最先端の技術や知識を持つ企業や個人、専門家を加えて組織した「戸田市DX(デジタルトランスフォーメーション)推進本部」を立ち上げ、最新の技術や手法を取り入れて、行政のデジタル化を促進したいと考えています。

菅原 平成30年に経済産業省より、DXの推進をしない場合、多大な経済損失が生まれる可能性があるとして発表されました。国でもデジタル庁が創設され、国を挙げてデジタル化の取り組みが進んでいますね。

野澤 市内でも、地域によっては障がい者や高齢者の買い物難民が増えつつあります。インターネットを使った買い物支援や、遠隔医療システムなど、デジタル環境は今後、生活を支える重要なライフラインとなっていくことは間違いありません。

菅原 戸田市では、生活の基盤となる、市民に有益なデジタル環境を整備すべく、研究を進めています。一方で、デジタル化と連動して、情報セキュリティや個人情報保護の重要性も増えています。また、大地震や自然災害

の他、ウイルスなど未知の驚異に備えるという観点も求められています。

野澤 はい。デジタル化には効率性はもちろんですが、サービス品質や安全性も求められます。人の生活に寄り添ったデジタル環境を実現するためには、産官学民の連携が欠かせません。特に日本は少子高齢化社会で今後30年で深刻な人手不足が問題となります。デジタル技術を上手く活用し、すべての人が活躍し、社会のために役割を果たせる未来志向の社会基盤を今こそ構築すべきです。持続可能な社会を、我々の世代が後世に残していかなければなりません。

菅原 戸田市では、2019年に持続可能な開発目標(SDGs)先進度ランキング(日経グローバル)で、首都圏4位となりました。これは戸田市が、小さな都市ながらも環境保全活動に力を入れてきたことや、子育て支援への積極的な取り組みが評価された結果だと思います。

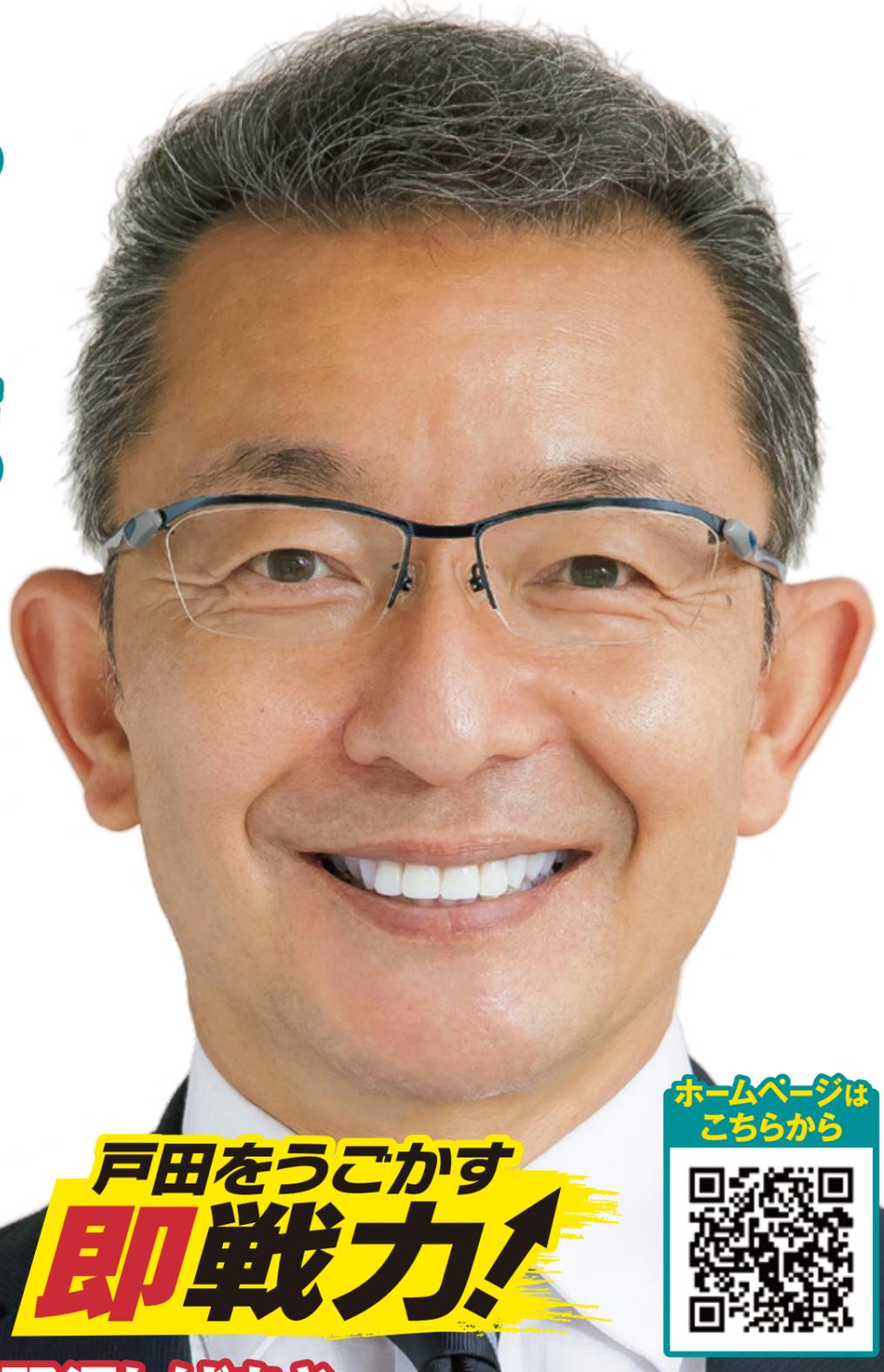
野澤 行政のペーパーレスや、デジタル教育の推進など、デジタル化は様々な課題を解決できます。持続可能な未来都市を目指す戸田市の取り組みを、私も経験を活かして全力でサポートしていく所存です。

菅原 野澤さんは長年の企業経営の経験があり、PTAや地域活動にも熱心で、周囲からの信頼も厚く、非常に頼もしい存在です。野澤さんの挑戦を、心から応援しています。共に頑張ってまいりましょう!

野澤 子どもたちを守り、頑張る人を支える市政を実現できるよう全力で頑張ってまいります。本日はありがとうございました。

*DX(デジタルトランスフォーメーション) / デジタル技術を活用し、ビジネスモデルや業務、組織などを変革していくこと

野澤しげまさ 無所属



戸田をうごかす **即戦力!**

ホームページは **こちらから**



野澤しげまさの **5×3アクションプラン**

野澤しげまさ 先進的な取り組みを進め、持続可能な未来都市を目指す

- 1959年生まれ ●栃木県宇都宮市出身 ●県立宇都宮高校・東京理科大学工学部卒 ●30代でソフトウェア会社起業
- 【主な活動】●さくら草保育園 保護者会・後援会会長 ●戸田第一小学校・戸田中学校 PTA会長
- 戸田第一小学校 学校運営協議会副会長 ●あいパル運営委員会 委員 ●子どもの国運営委員会 副委員長
- 東町町会 副会長(ちびっ子プール担当) ●戸田市聖火リレー記念イベント等実行委員会 委員
- 戸田ふるさと祭り実行委員会 委員 ●菅原文仁後援会 事務局長

デジタル環境の整備が市民の有益な生活を支える 戸田市長 すがわら文仁

- 1975年生まれ ●美谷本小・美笹中・伊奈学園総合高校・日本体育大学卒業(教員免許取得)
- 明治大学大学院修了(公共政策学)
- 【主な活動】●元社会体育会代表 ●戸田市議会議員(2期6年間)
- 埼玉県議会議員(2期7年間) ●平成30年3月第4代戸田市長に就任

野澤しげまさ事務所 TEL.090-2520-3359 戸田市本町1-21-20-1304

【メール】info@nozawashigemasa.com 【ホームページ】https://www.nozawashigemasa.com



政策対談 デジタル化で戸田を持続可能な街へ



戸田をうごかす 即戦力! 野澤しげまさの 5×3 アクションプラン

未来志向のまちづくりで誰もが輝く戸田へ!

私はソフトウェア会社を経営する傍ら、小中学校のPTA活動、町会活動、保育園の後援活動や、彩湖へのオリンピック・ボート競技の誘致活動に取り組み、街づくりに携わる喜びを感じてきました。

ウィズコロナの時代を迎える今、市民目線で未来への改革を進め、安心できる暮らしを創り、子どもたちを守り、頑張る人々を支える政治が求められています。

そこで私はこのたび、長年のビジネス経験と地域活動経験で培った「相手に寄り添う行動力」を活かすべく市政に挑戦します。



教育に即戦力!

PTA活動や教育支援活動の経験で

教育日本一のまち 戸田の実現!



小学校「12歳のハローワーク」にて

- ICT教育の定着・加速**
 - 全児童生徒へのPC導入でオンライン学習の環境整備
 - 個別最適化された学びによる学習機会の保障
 - プログラミング教育による論理的思考力の向上
- 戸田型15年教育の推進**
 - 教育・福祉連携で0～15歳までの切れ目ない支援の実現
 - 地域文化や歴史を尊び郷土愛を醸成する教育の推進
 - 産学官連携・教育政策シンクタンクによるEBPM※推進
- 地域教育力の向上**
 - 学校運営協議会の活用による地域に開かれた学校づくり
 - 教職員の働き方改革やPTAの負担軽減
 - 市内各図書館・公民館の機能強化による生涯学習の推進

※EBPM/「Evidence-Based Policy-Making」の略で、「客観的な根拠を重視した教育政策」のこと。今後の教育について、効果的な取り組みは何かを客観的な数値や科学的根拠に基づいて実践するもの。

子育てに即戦力!

子育ての現場に関わってきた経験で

子育て支援で誰一人として取り残さない!



小学校にて朝のあいさつ・見守り

- 安心な結婚・妊娠・出産環境の構築**
 - 子ども家庭総合支援拠点の整備で戸田市版ネウボラ※の機能強化
 - 妊産婦の産前産後ケア、相談支援体制の充実
 - 不妊治療費助成制度の見直しと助成拡大
- 安心な保育行政の推進**
 - 待機児童ゼロの継続と保育士不足解消を推進
 - 保育創造プロジェクトによる民間保育園の魅力向上
 - 先進的な幼児教育の導入によるスムーズな学校接続の推進
- ひとり親家庭支援と子どもの居場所確保**
 - ひとり親の子育て支援強化と安定した就労先の確保
 - フードパントリーや子ども食堂による「第3の居場所」確保
 - 放課後子どもアクションプランによる放課後の充実

※ネウボラ/妊娠期から小学校まで専門家が切れ目ないサポートを行う子育て支援拠点。

基本姿勢

市民本位
～地域力・市民力の増進に向けて～
誰もが安心していきいきと暮らせるまちづくりを、市民本位で推進します。

全力対話
～声を生かせるまちに向けて～
市民の皆様との対話を全力で重ねつつ、小さな声・声なき声を市政に届けます。

温故知新
～戸田の未来に向けて～
古き良き時代から学びつつ、現代に即した改革を実行します。

健康に即戦力!

スポーツに打ち込んできた経験で
人生100年時代を元気に過ごすムーブメントを!



戸田ボートコースにて

- 介護・福祉・医療連携の推進**
 - 戸田市版地域包括ケアシステムの構築
 - 特別養護老人ホームの誘致による待機状況の解消
 - 介護・福祉施設を拠点とした地域交流プログラム推進
- 気軽にスポーツ・運動できる環境整備**
 - 公園リニューアル計画によりボールで遊べる公園等の整備
 - 駅周辺バリアフリー・自転車レーン整備による円滑な移動確保
 - スマートウェルネスシティの推進による健康寿命の延伸
- ボートを活かした街づくり**
 - 市民レガッタの開催など誰もがボートに触れる機会を増加
 - ボートコースの水草対策や聖火台周辺整備で戸田公園の環境改善
 - 市民クラブ・大学社会人チーム支援と小中学生ボート教育推進

安心に即戦力!

地域の防災活動、安全活動の経験で

安全・安心を最優先に!



マンションの防災点検にて

- 新型コロナウイルス対策**
 - 医療機関と市の連携強化による検査・医療提供体制の強化
 - 経済と雇用を守るために市内事業者等への更なる支援
 - ウィズコロナ暮らし安心プロジェクトで新しい生活様式の定着
- 水害や大地震に強い街づくり**
 - 戸田市版BCP※の策定による危機管理の徹底
 - 雨水貯留管設置やボートコースの貯水機能増強
 - 避難所運営体制や要援護者支援体制の確立
- 地域防犯力の強化**
 - 子どもの安全を守るため市全域(通学路)へ防犯カメラを設置
 - 子ども見守り隊の全市展開で地域の見守り体制の強化
 - 自主防犯活動の支援等による犯罪を起こさせない環境づくり

※BCPプロジェクト/「Business Continuity Plan」の略で、「事業継続計画」のこと。企業や組織が、災害などの危機的状況下に置かれた場合でも、重要な業務が継続できる方法や対策を用意し、事業継続を可能にするための計画書のこと。

行政に即戦力!

長年のソフトウェア企業経営の経験で

さらに住民満足度の高い行政サービスに!



埼玉県庁にて

- デジタル行政の推進**
 - 戸田市DX推進本部を設立しデジタル化を促進
 - LINE市役所・SNS相談窓口の実現でスマートフォンで手続き完結
 - 自治体連携DX協議会(仮称)の設置で情報連携を強化
- 持続可能な開発目標(SDGs※)の推進**
 - 戸田市版ウーマノミクスの更なる推進で女性の活躍を支援
 - 地元企業への優先的発注による地域完結型の調達を推進
 - 未来環境都市構想の推進で人と自然が共生する持続可能な都市の構築
- 経営者の視点を生かした行政経営**
 - 利益・恩恵と費用に配慮した財政運営の推進
 - 民間協働によるコレクティブインパクト※型の課題解決手法の導入
 - 地域資源の発掘とふるさと納税制度の活用による稼ぐ行政の推進

※SDGs/「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称。国連が採択した「誰一人取り残さない社会」を原則とした、国際社会共通の目標。
※コレクティブインパクト/課題に関わる多様なプレイヤーが、共通のビジョンを持ちながら連携し、課題解決や社会変革に円滑に取り組むこと。